

令和4年度国立大学図書館協会関東甲信越地区協会助成事業

「研究データ管理（RDM）と大学図書館業務」

開催要項

●趣旨

近年学術機関において重要性が強調されている研究データ管理（RDM）業務について、日本における政策動向や先進機関の取り組み等の概況を理解するとともに、現在・将来にわたる大学図書館の業務として何ができるのか、何をなすべきなのかを考える機会を設けます。

●主催

国立大学図書館協会関東甲信越地区協会

●日時・形式

2023年2月27日（月）13:00～16:20 Zoomによるオンライン形式

●対象・定員

大学図書館職員および大学教職員 定員 85名

●参加申し込み

参加希望者は、メールでお申込みください。

申込メールアドレス：libref@ynu.ac.jp

件名を「関東甲信越地区協会助成事業申込」とし、お名前、ご所属、電話番号、ご所属機関のメールアドレス、交流会への参加希望有無、各講義への事前質問（ある場合のみ）をご記入の上、お申込みください。

いただいた事前質問については、質疑応答等で紹介させていただくことがあります。

申込締切: 2023年2月17日（金）

※ 各自でお申し込みをお願いします。複数人まとめてのお申込みはご遠慮ください。

※ 定員に達した場合は、受付を締め切ることがあります。

※ 開催前に、記入いただいたご所属機関のメールアドレスに研修会接続先 URL 等をお知らせします。

※ 交流会参加者には、事前に課題と交流会参加者名簿をお送りします。

※ 交流会の参加希望者が多数の場合はご希望に添えないことがあります。

●問い合わせ

横浜国立大学附属図書館 情報サービス係（担当：目谷）

Tel. 045-339-3217

Email: libref@ynu.ac.jp

●プログラム

- 12：00～12：30 ビデオ館内見学（横浜国立大学附属図書館）（希望者のみ）
12：30 受付開始
13：00～13：05 開会
13：05～14：05 「研究データ管理サービス開発に向けた国内の取り組み」
南山 泰之氏（国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター）
14：05～14：15 休憩
14：15～15：15 「海外の大学における研究データ管理サービスや支援人材の育成の現状と九州大学における支援体制や今後の展開」
石田 栄美氏（九州大学 データ駆動イノベーション推進本部研究データ管理支援部門）
15：15～15：25 休憩
15：25～16：15 研究データ管理の現状報告・情報交換
（茨城大学・千葉大学・横浜国立大学の報告後、参加者と情報交換の時間を設けます。）
16：15～16：20 閉会
16：20～17 時頃 交流会（定員 15 名）（事前申込制）
※時間は進行の都合上、前後することがあります。ご了承ください。

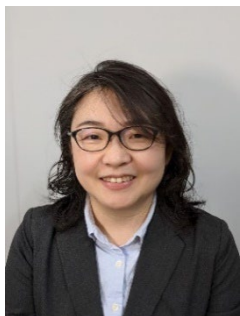
●講師プロフィール



南山 泰之氏

国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター 特任助教

2005 年より国立極地研究所情報図書室に勤務。2007 年～2008 年に第 49 次日本南極地域観測隊に参加。東京大学駒場図書館（2011 年～2014 年）、国立極地研究所情報図書室（2014 年～2018 年）、東京財団政策研究所（2018 年～2019 年）を経て現職。専門はデータキュレーションであり、分野横断的なデータキュレーション活動の分析と形式化を実践してきた。現在は、その研究をもとに汎用的なデータキュレーション支援システムを設計している。



石田 栄美氏

九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 研究データ管理支援部門 教授

2001 年より国立情報学研究所情報学資源研究センターCOE 研究員。駿河台大学文化情報学部およびメディア情報学部 講師・准教授（2003 年～2011 年）、九州大学附属図書館准教授（2011 年～2022 年）を経て現職。九州大学では統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻も担当。専門はテキスト自分類や情報検索、質的研究手法の半自動化の試みのほか、図書館情報学全般に関する研究を行ってきた。現在では、研究データ管理とそれを担う人材の育成に興味を持っている。